



2019年9月 マンスリー レポート

集計企業数 55 社

①売上高・前年同月比

	全店			既存店	
	売上高	構成比(前月)	前年同月比(前月)	売上高	前年同月比(前月)
総 額	58,872,707 万円	100.0%	102.6% (100.6%)	55,853,052 万円	100.5% (98.7%)
食 料 品	49,980,446 万円	84.9% (85.8%)	101.1% (100.2%)	47,594,323 万円	99.2% (98.5%)
農 産	7,634,759 万円	13.0% (12.8%)	97.5% (96.1%)	7,348,279 万円	95.6% (94.5%)
水 産	4,384,683 万円	7.4% (7.7%)	100.1% (101.2%)	4,215,408 万円	98.3% (99.2%)
畜 産	6,081,694 万円	10.3% (10.2%)	98.2% (100.7%)	5,825,960 万円	96.0% (98.6%)
惣 菜	5,968,345 万円	10.1% (10.9%)	103.6% (102.0%)	5,728,012 万円	101.4% (100.1%)
日配食品	11,364,560 万円	19.3% (19.3%)	100.7% (100.4%)	10,444,223 万円	98.9% (98.7%)
加工食品	14,546,405 万円	24.7% (25.0%)	104.1% (101.0%)	14,032,440 万円	102.3% (99.6%)
生活関連	4,097,141 万円	7.0% (6.1%)	119.1% (102.5%)	4,003,435 万円	116.8% (99.6%)
衣 料 品	1,488,777 万円	2.5% (2.4%)	103.8% (100.7%)	1,371,069 万円	101.7% (99.7%)
そ の 他	3,306,343 万円	5.6% (5.6%)	107.0% (104.7%)	2,884,224 万円	101.5% (100.3%)

② 数 値

全店総売上高	58,872,707 万円	店舗数	4,868 店舗
総売場面積	9,755,246.9 m ²	総従業員数	261,744 人

店舗平均月商	12,093.8 万円	平均客単価 (前年同月比)	1,937.0円 (102.2%)
月間m ² 売上(前月)	6.0 万円 (6.3万円)	平均店舗面積	2,004.0 m ²
月間坪売上(前月)	20.0 万円 (20.7万円)	パート比率(前月)	77.7% (77.6%)

注) 総従業員数・・・パート・アルバイト数は、8時間換算しています

《 全体概況 》

- ・ 9月の天候について、月の平均気温は全国的に高かった。日照時間は北日本と東日本の日本海側でかなり多く、沖縄・奄美でかなり少なかった。また、複数の台風の影響により各地で大荒れとなり、千葉県などでは停電の影響で営業が出来ないなどの被害があった。
- ・ 生鮮の相場状況について、青果物では、野菜が前年に比べ相場安であったが、果実は月間を通して相場高となった。水産物の市場への入荷量は前月に比べ増加し、卸売価格はやや下がったが、「さば」や「するめいか」は高値であった。畜産物では、豚肉が前年と比べ相場高であった。
- ・ 昨年と比べ、土曜日が1回少なく月曜日が1回多い曜日廻りであった。

《 商品動向 》

・ 農産

- ・ 気温の影響により、「スイートコーン」や「枝豆」が好調であった一方、「はくさい」や「だいこん」、「ねぎ」などの鍋物商材は不調であった
- ・ 「しいたけ」などの菌茸類が不調であったとのコメントが多くあった
- ・ 「ぶどう」は全体的に不調であったが、シャインマスカットだけは好調であった
- ・ 「なし」や「桃」は好調であったが、「みかん」は好不調に分かれる結果となった

・ 水産

- ・ 「さんま」は不漁による相場高で不調であった一方、秋鮭の「切身」や「筋子」が好調であった
- ・ 「ぶり」や「サワラ」などの「切身」が好調であったとのコメントが多くあった
- ・ 価格の高騰により「するめいか」が不調であった

・ 畜産

- ・ 牛肉は不調であったが、焼肉用は好不調に分かれる結果となった
- ・ 豚肉は不調とのコメントが多くあった
- ・ 鶏肉は「もも肉」が概ね好調であった

・ 惣菜

- ・ 秋の運動会需要として、「弁当」や「おにぎり」、「唐揚げ」が好調であった
- ・ 旬の「カキフライ」や「さんま」の竜田揚げが好調であった
- ・ 「中華総菜」や「天ぷら」は好不調にコメントが分かれた

- ・ 日配・加工食品

- ・ 気温の影響により、「アイス」や「涼味麺」、「飲料」が好調であった一方、「練物」や「こんにやく」などのおでん材料等が不調であった
- ・ 昨年は、北海道地震の影響で「生乳」の供給が減少し「牛乳」が品薄状態になっていたが、今年はその裏年となったため好調であった
- ・ 昨年の「漬物」「納豆」特需の裏年により、不調が続いている

- ・ 消費税増税前の動向について

- ・ 増税対象の「ビール」や「ウイスキー」、「みりん」等の酒類や、「紙製品」や「洗剤」等の日用品を中心に大幅に売上が伸長した
- ・ 加工食品の増税対象外商品においても、ストック性の高い品群で特需があったとのコメントもあった

- ・ 「秋のお彼岸と秋の味覚」の取組みと動向について

- ・ 「おはぎ」や「だんご」「天ぷら」は概ね好調であった
- ・ 秋の味覚では、「さんま」の不漁や「みかん」の育成不良により、販促を打ち出しにくかったとのコメントがあった

以 上